舌圧測定
MFT
(口腔筋機能療法)

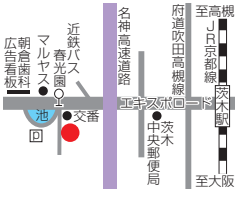
健康な口の働きは舌圧30kpa以上が必要
～咀嚼機能や咬合圧等の定期検査が大切～

歯学博士 朝倉勉 院長

ケアマネージャー(CM)
大阪大学歯学部歯科医師
臨床研修指導医
日本糖尿病協会歯科医師登録医

朝倉歯科医院
小児歯科Happy club
ホワイトニングサロンBLANCA
かかりつけ歯科医機能強化型診療所
大阪大学歯学部臨床研修施設
072-625-2001(代表)
茨木市南春日丘1-1-19
朝倉デンタルビル 春日丘交番隣り

舌は、食物を取り込んで唾液と混ぜて食塊形成し、食感を得ながら味わって咀嚼することが重要な役割です。舌には味蕾で味覚を感知する機能があり、発育の為、会話の度に口腔内の空間を変化させます。舌圧の低下は高齢者では口が乾く、飲みこめない、滑舌が悪い等の症状があり舌と口腔周囲筋のストレッチ(MFT)によって改善できます。子どものポカンロ、若年層の笑顔消失も舌圧が30kpa未満の方にみられます。舌体操やスプリントを使用したMFTで正しい咀嚼運動と舌や口腔周囲筋との調和した咀嚼運動になれば、嚥下機能や言語機能などが改善されます。口腔機能検査には、舌圧の他に咀嚼、咬合圧、嚥下、口腔乾燥などの検査があります。フレイル(虚弱)の始まりは口から…口腔機能低下を予防し、笑顔で日常生活を快適に過ごしましょう。



0120-468-321
http://asakura-dental.com

【歯科セカンドオピニオン外来】

舌圧測定、口腔ケア、入れ歯、咬み合わせ、インプラント、歯周病、矯正、口臭、訪問診療、CT画像診断、ホワイトニング、審美歯科、金属アレルギーなどはお気軽にご相談ください。
歯の悩み相談は春日丘本院で院長が行っております。